

「精神的不安定さを持つ養育者の元で育つ子どもへの理解と支援」



支援者研修 -基礎講座-のご案内

“**精神的不安定さを持つ養育者の元で育つ子ども**”についての**理解**と、子ども支援に携わる方の**スキルアップ**を図ることを目的とした研修です。

基礎講座は“精神的不安定さを持つ”親・子を見守り、サポートしていくための基礎知識について、講義を中心に学ぶ講座です。

当日は、他職種の方と意見(情報)交換するグループワークも予定しています。これまで参加していただいた方から、このグループワークが他の状況を知ることにもなり、参考になったとの声を多数聞いております。このような場が、地域の子育て支援に携わる方との交流の機会にもなればと考えています。

1. 日時および場所:

平成 30 年 6 月 30 日(土) 9:30~16:00

鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 4号館 1階 4101 教室

(鈴鹿市南玉垣町 3500-3 ☎ 059-340-0550)

2. 参加対象:

学校教員、養護教諭、スクールカウンセラー、保健師、民生委員、児童委員

子育て支援員など、子どもの支援に関わられる方(約 60 名)

* 参加は、一日を通して参加できる方に限らせていただきます

3. プログラム:

- | | |
|---------------|---|
| 9:15 ~ | 受付 |
| 9:30 ~ 10:20 | 『精神的不安定さを持つ養育者の元で育つ
子どもの特徴・関わり方の留意点』
鈴鹿医療科学大学看護学部・准教授 土田 幸子 |
| 10:20 ~ 10:30 | 休憩 |
| 10:30 ~ 12:00 | 『精神症状の日常生活への影響』
三重大学医学部附属病院・精神神経科医師 鈴木 大 |
| 12:00 ~ 13:00 | 昼食 |
| 13:00 ~ 13:30 | 『地域生活を支える様々な支援 - 社会資源の活用-』
精神保健福祉士・保健師 和田 正子 |
| 13:30 ~ 14:30 | 『園・学校・地域でできること~事例を通して見えてくること~』
三重県スクールカウンセラー(臨床心理士) 北川 睦 |
| 14:30 ~ 14:40 | 休憩 |
| 14:40 ~ 15:30 | グループワーク |
| 15:30 ~ 16:00 | 全体のまとめ |

4. その他:

資料代として 500 円を徴収させていただきます。

5. 申し込み方法:

参加者氏名・連絡先・所属・職種を**6月16日(土)までに**下記の連絡先に**メールで**ご連絡ください。受付後、こちらから連絡を入れさせていただきます。申し込み多数の場合は、先着順で締め切らせていただきます。ご了承ください。

主 催:親&子どものサポートを考える会
後 援:三重県、三重県教育委員会、鈴鹿市教育委員会、
伊勢市教育委員会、松阪市教育委員会、鈴鹿医療科学大学
連 絡 先:鈴鹿医療科学大学 看護学部 土田幸子
Mail:sachiko@suzuka-u.ac.jp Tel:059-340-0855

《会場アクセス》



- ・近鉄白子駅より三交バス(西口)「鈴鹿市駅」、「鈴鹿中央病院」行きを利用し、「鈴鹿警察」下車
お願い: 弁当等のゴミは、各自でお持ち帰りください。

《これまでにご参加いただいた方の声》

- ・家庭内で辛いことを抱えている子どもたちがどんな思いを持ち、日々を過ごしているのかを知ることができた。
- ・グループワークでは、さまざまな職種の方と話し合うなかでいろいろな支援方法や連携方法があることを知ることができた。
- ・日々精神的に不安定さを持つ保護者を理解していくことが大事であるということや、困り感を考えていく上で「誰の困り感なのか」を整理し、その後の支援を考えていくことが大事であることを学ぶことができた。
- ・当事者を支援するだけでなく、支援している人も支援できる環境作りが大切だと感じた。
- ・知っておくとよい「知識」や「情報」「実践」のヒントが1日の中に組みこまれていてとても学びの多い1日だった。
- ・困っていることに、一緒に考えていくことが何より大切だと感じた。
- ・子どもに関わる立場からの視点と、関連機関との視点の違いを大切にしていきたいと思った。
- ・子どもたちには、モデルとなる大人の存在、特性を理解してくれる大人の存在、安心できる大人の存在、そして、親を支援するために動いてくれる、また、支援する大人の存在が大切だと分かった。
- ・保護者や子どもの姿、行動の背景にあるものを思いこむことなく多職種で協働し、それぞれの立場でできることを考えながら支援に携わることができるようこれからも努力していきたい。
- ・概論から、医療の視点、社会資源の視点から、事例を通してみえてくること、と様々な視点での話をきける事ができてよかった。
- ・改めて自分がやっていること、これまでのこと、これからのことを考えるいい機会になった。

▶ 予告: より実践的な内容を学びたいと希望される方のために、10月27日(土)に基礎講座を終了した方を対象に事例を見立てる演習や面接のロールプレイを含む『実践講座』を予定しています。